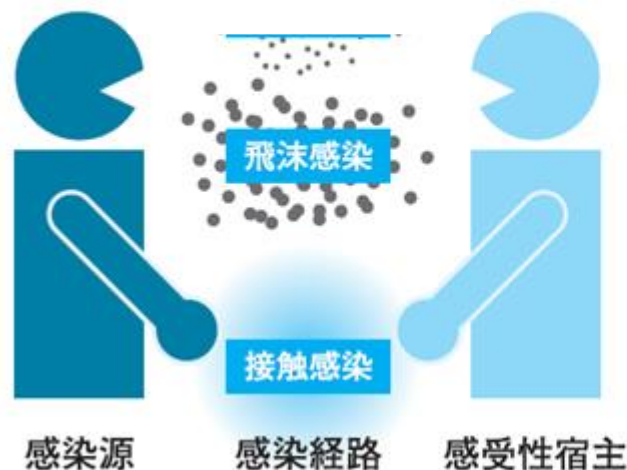


RS ウイルス感染症について

RS ウイルス感染症の症状

- ・発熱
- ・鼻汁
- ・ひどくなると咳、喘鳴、呼吸困難などが出現
- ・乳児の半数以上が1歳までに、ほぼ100%が2歳までに感染する(1度感染しても、何度も再感染します)

感染経路



- 飛沫感染
直径 $5\mu\text{m}$ より大きい大飛沫粒子で空中を浮遊せず、短い距離(約1m)を飛び、床に落下します。
- 接触感染
手や皮膚の接触による直接接触感染と、汚染された媒介物の接触による間接触感染に大別されます。

病原体であるRSウイルスの感染経路は

- 咳やくしゃみをした際に飛び散るしぶきを吸い込む**飛沫感染**
- 感染している人との濃厚接触、ウイルスがついている手指や物品を触ったり舐めたりすることによる**接触感染**

**RSウイルス感染症かなと思ったら早めにかかりつけ医に
相談しましょう。**

予防には手洗いとマスクの着用

じょうずに手を洗いましょう



1 両手を水で洗います。



2 セッケンを手にとってアワをつくります。



3 手のひらを洗います。



4 ゆびのあいだも洗います。



5 手のそとがわを洗います。



6 ゆびさきの、ツメのところを洗います。



7 おやゆびのつけねも洗います。



8 さいごに手首を洗って、水で15秒くらい洗いながします。



咳、くしゃみなどの呼吸器症状がある場合は、マスクを着用することで、感染対策ができます。

日頃から規則正しい生活とバランスのとれた食事などで免疫力を高めておくことも重要です。



加藤病院
保健師 石田、左山
0855-72-0640 (代表)